



奈良町にぎわい通信

Vol.26

二〇一七・芒種〜夏至

発行
奈良町
にぎわいの家



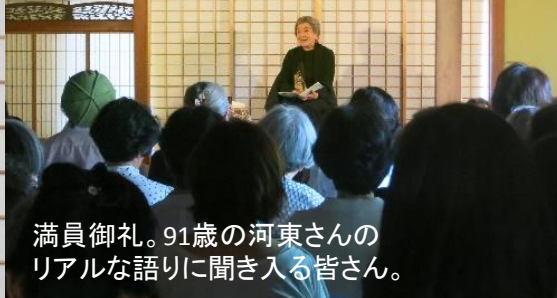
にぎわいの花
咲かそう



関西を代表する女優、河東けいさんのひとり語り「母」



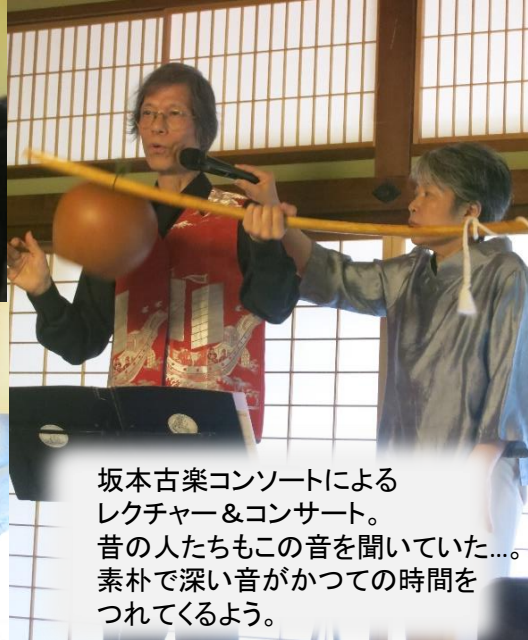
満員御礼。91歳の河東さんのリアルな語りに聞き入る皆さん。



珍しい古楽器に皆さん、興味津々



坂本古楽コンサートによるレクチャー&コンサート。昔の人たちもこの音を聞いていた…。素朴で深い音がかつての時間をつれてくるよう。



橋本宗玲社中による四季の茶会



かまど体験はえんどうご飯！裏庭で収穫したお豆で。



倉橋みどりさんによる恒例の節気講座。初夏の写真も美しく。



奈良町にぎわいの家 5月のイベントから

コマに夢中！時間を忘れます。



囲碁体験、小さくても負けないぞ！



「軒菖蒲」屋根に上げます。



座敷に響く箏の音色…。



笑顔も声も最高！懐かしの南京玉すだれ！



ゴールデンウィークのにぎわい。レポートは次ページに。

自分の家のようにくつろぎ遊ぶ…。



遅ればせながら...黄金週間企画、にぎわいレポート

・「南京玉すだれでにぎわおう！」(5/3)

八房美都代の会の3名の方が、外スペースでにぎやかに披露。節に合わせ、すだれが七変化。みなさんの笑顔が、にぎわいの家にも福の神を呼んでくれているようでした。公演後、お客様も南京玉すだれに挑戦。釣りざおや、輪を見事に作って、いい笑顔！

・「箏の音色に親しもう！」(5/4)

竹村雅歌弥、雅萌先生の演奏。座敷を開け放ち、来館者が往き来しながらも、沢山の方が座り、じっくり演奏を鑑賞、外国のお客様が集中して聞き入る様子が印象的でした。古典から「ハナミズキ」などポピュラーまで、箏の音色の豊かさを感じるひととき。体験も皆さん、積極的に参加！

・「囲碁を楽しむ」(5/6)

真鍋不二郎さんにあれこれ手ほどきを受けながら、小学生から外国の方まで、囲碁の面白さを知っていただくいい機会となりました。

・その他企画…昔遊びコーナーは、外スペースでコマ回し、けん玉、屋内では、とんとん相撲に、おはじき、お手玉を用意、皆さんにぎやかに遊ぶ姿が。コマは大塚英二郎先生が毎回来て下さり、熱心な方は2時間！練習も。昔取った杵柄で、ひょいっと空中技を見せて下さる年配の方。老若男女交わり、わいわい言いながら、当館ならではの「にぎわい時間」…。季節ごとにこうした昔遊びをしますので、皆さん、気軽にいらしてくださいね。



海外のお客様との交流&おもてなし

～リトアニアの皆さんをお迎えして～



←着物姿のスタッフ。

英語スタッフによる、館内説明。
↓



リトアニアの
オーナメント。
キュートな
天使さん。



5月にリトアニアからのご一行をお迎えしました。今回、日本文化に触れるということで、お茶の体験をしていただきました。まず当館スタッフがお点前を披露、次に自分で点てます。茶筌を持つのも初めて、皆さん、興味津々ですが、続けて二度もされたとのこと。その日は暑く、障子を開けて涼しくしようとしたら、和の空間を味わいたいのので閉めたままで、と。お茶の一期一会を感じたいというような声に、私たちも驚き、納得。その後、折り紙やお手玉で遊び、お別れという時に、なんと、プレゼントを下さいました。リトアニアのオーナメント！素朴な木の味わいに、お国柄を感じます。こうした海外のお客様との交流を大事に、気軽に日本文化に触れていただける機会を持ち、当館ならではのおもてなしができたと思います。

奈良町にぎわいの家 二十四節気葉書 ～芒種～



昔は水に困った大和国原も、今は
吉野川分水のおかげで潤っている。
芒種のころ、さあ、田植えをしよう。



オリジナル節気短歌
喜多隆子(歌人)
節気マーク・
はがきデザイン
金田あおい(藍寧舎)

はるばると吉野川分水国原に届きて

芒種いざ田植えむ

事務局だより

2017
夏至号

夏に向けて

事務局長 藤野正文

6月21日は「夏至」。はやくも一年中で一番昼が長く、夜が短い日です。夏至は収穫を迎える夏の始まりを告げる日でもあり、植物にとっても人類にとっても繁栄、繁殖と結びつく日で、草木が真っ盛りに花をつけます。

また、夏至の終わりの半夏生の日、関西では「稲の根がタコの足のようになり」と張り豊作になりますように「という願いが込められタコを食べる習慣があるとか。奈良県では麦の収穫が一段落するこの時期に麦で作った餅を神様に供え、それを食べる場所もあるとか。（私が知らないだけかもしれません。）」

その日までに田植えは終わるとか、農業を行う上で意味ある日でもあったようですが、食生活の中でも、幸せ・豊作を祈りと感謝の思いも込めて季節の食材を食べていたのでしょうか。奈良町にぎわいの家でのかまど体験でも、かまどの御飯に裏庭の食材を添えて季節の変化を愉しんでいます。

この梅雨に入る前の時期は、日差しは厳しいものの日陰は涼しく、本当に過ごしやすい季節です。にぎわいの家の縁側のガラス戸やふすまを



「指」！？こわい写真ではありません。登録有形文化財認定プレートが届き、格子に取り付けました。重みを感じます。

★にぎわいトピックス★

開け放つと気持ちのいい自然の風が部屋のすみずみにはいつてきます。裏庭から離れを通って中庭に中庭から本屋の座敷を通って格子を抜けて表通りに。風がとおり抜けます。通り庭（土間）でもヒンヤリと風が抜けていきます。トンボや蝶々も迷い込んでいきます。この季節が、屋外も室内も境界のない自然が楽しめる、自然と一体となった町家暮らしを過ごす一番いい時期だと思っています。

欧米では、厳しい自然と対峙して人間の生活空間を守るすまいをつくってききましたが、日本では、穏やかな四季の変化を楽しむ町家（日本の昔からの都市型住宅）をあみだしてきました。その町家の知恵や工夫を伝え、未来の住まいづくりに生かせるようにしたいものです。



「壁」って何？
イメージが膨らむ作品。奥の部屋は前の部屋と全く違う面白さが。

●つし二階アート企画vol. 11
THE WALL
北川幸司作品展



外国のお客様に好評でした。

奈良墨を使った作品は、象形文字を立体的に吊すなど、蔵がまるで墨の「杜」に見えるような世界が。

●蔵展示 囀りの杜
イマタニタカコ作品展

★にぎわい展示企画★

奈良町にぎわい通信vol.26

制作...奈良町にぎわいの家管理共同体
発行人...二十軒起夫
編集・構成...おの・こまち
表紙デザイン・レイアウト...福田昭一
撮影...奈良町にぎわいの家スタッフ

奈良町にぎわいの家 9:00~17:00 水曜日・休館
〒630-8333 奈良市中新屋町5 TEL 0742-20-1917

nigiwainoie@gmail.com

<http://naramachi-nigiwainoie.jp/>

芒種

書...逢香

奈良町にぎわいの家
オリジナル節気マーク



芒種
6/5~20



夏至
6/21~7/6

夏至の日の国原早苗りんんと
立ちそむるなり夏の光に

前登志夫
(日本を代表する奈良の歌人)

表紙の花...奈良県華道会による
いけばなの日(6/6)に向けての
展示より。